



2009～2010年度
国際ロータリーのテーマ
ロータリーの未来はあなたの手の中に
2009～2010年度
RI会長 ジョン・ケニー

Weekly Report

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

創 立：1980年(昭和55年)11月10日
会 長：増田 盛英
幹 事：高木 勝
クラブ広報委員長：岩崎 道夫
例 会 日：毎週木曜日 PM12:30～
会 場：ヒルトン名古屋
事 務 局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ヒルトン名古屋910号
T E L：052-211-3803
F A X：052-211-2623
M A I L：2760nagoya@mizuho-rc.jp
U R L：http://www.mizuho-rc.jp/

第1434回例会

～R財団月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2009年11月5日(木) 曇 第17回

司 会：梅田朋嗣会場委員

点鐘前に館 健吾さんと橋本 章さんに対して黙祷

斉 唱：「君が代」「奉仕の理想」

ゲストスピーカー：第2760地区R財団委員長：深谷友尋さん

ゲ ス ト：故館 健吾さんご夫人 館まち歌さん

ビ ジ タ ー：名古屋南RC：近藤禎男さん

会長挨拶

増田盛英会長

只今は、館健吾さんと橋本章さんに黙祷をして頂き誠にありがとうございました。ご冥福をお祈り致したいと思います。又、館さんの葬儀には大勢の会員の皆さんにご会葬頂き、誠にありがとうございました。ここ数年車椅子ではありましたが、12月のクリスマス家族会には奥様と一緒に出かけいただいております、今年もお会いできることを楽しみにしております。奥様にお聞きしましたところ、28歳で西春日井RCに入会、40歳で名古屋瑞穂RCに移籍され、以来クリスマス家族会には必ずご出席になっていたということでした。62歳と言う若さでのご逝去本当に残念でなりません。

私の館さんとの思い出は、1993年度～1994年度の野崎会長の元で私が幹事をつとめさせていただいた時に、館さんは国際奉仕委員長でありました。台北延平RCのご子弟が名古屋にお越しになられた時に、館さんと何をしようかと色々相談をして、台湾の人は「雪を見たことが無いだろう」と言うことで、富士山の方面に行き、スキーをしてみようと言う計画をしました。ところが、2月ではありましたが名古屋地方は大雪が降り続きバスでの移動が不可能となり行くことが出来なくなってしまいました。せっかくの館さんとの企画が駄目になってしまいました。その日は名古屋市内のホテルはどこも満員でした。春日良平さんに何とかお願いをして、かすが荘に泊めていただきました。そして皆で岩風呂に入り、ゆかたで「すきやき」を食べた時の味は格別でした。私は今でもその時に野崎会長とともに館さんと心一つに協力し合ったことを鮮明に覚えております。

さて、10月21日の名古屋南RCさんとの合同例会のガバナー訪問日には、大勢の会員にご出席頂きありがとうございました。ガバナー方針がご理解いただけたものと思っております。

又、報告が遅れましたが、去る10月5日に名古屋中RCさんの40周年記念例会に、皆さんの代表として高木幹事と行ってまいりました。記念例会は、12時30分からの例会を少し延長したもので、記念事業の発表等がありました。記念事業は、

1. 40周年記念例会

2. 若さと品格「世代交流50年への炉談の夕べ」

3. 50年への英知「国際化問題への支援」

4. 楽しいクラブ「加山雄三withザ・ワイルドワンズコンサート」

5. 記念誌の発行「40年の歴史と50年への英知」

と言うことでありました。

20日の加山雄三ショーwithザ・ワイルドワンズコンサートにも、出席して参りました。18時30分からの開演で、72歳の加山雄三さんは、2時間で35曲、アンコールを含み合計39曲とその間休むこと、座ることも無く、そしてジョークをまじえた楽しいトークで、すごく若く正に「若大将」でありました。若さと勇気をもって、帰って参りました。

最後になりましたが、今月は、R財団月間です。本日は、佐藤一郎R財団委員長の担当で地区R財団委員長の深谷友尋さんをお招きして卓話をして頂くことになっております。深谷さんは、地区R財団委員長が本年度で4年目の大ベテランです。私も地区R財団学友委員会の委員として出向して4年となりますが、この4年間深谷さんとお付き合いさせていただき感じたことは、彼は正にMr. R財団です。楽しみにしてお聞きいただきたいと思います。

挨拶を終わります。ありがとうございました。

幹事報告

高木 勝幹事

- ・本日13時35分よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて第5回理事会を開催致します。
- ・11月7日(土)、11月8日(日)に地区大会が行われます。11月7日(土)は13時30分より名豊ビルにおいて本会議、18時よりホテルアークリッシュ豊橋5階において晩餐会が、11月8日(日)は9時30分より豊橋市総合体育館において本会議が開催されます。出席予定者の方は必ずご出席ください。
- ・次週11月10日(火)12時30分より台北ヒルトンホテルにおいての台北延平RC例会に関係者で訪問して参ります。
- ・次週11月12日(木)11時よりヒルトン名古屋9階「つるの間」において第3回クラブ奉仕委員会が開催されます。
- ・同じく次週11月12日(木)13時35分よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」において推薦委員会が開催されます。

出席報告

宇佐美貞夫出席委員

会員69名 出席45名 (出席計算人数53名)

出席率 76.3%

10月29日は補填により 88.1%

11月誕生日おめでとう

入江 理さん 宮崎 信次さん 森 恒夫さん

青少年育成基金寄付ご協力者(10月) 近藤茂弘新世代委員

天野 正明さん 増田 盛英さん 長瀬憲八郎さん
関谷 俊征さん 宗宮 信賢さん 高木 勝さん
高須 洋志さん 田中 隆義さん 遠山 堯郎さん

館健吾さんの会葬お礼

館まち歌さん

皆様、生前は主人が大変お世話になり、ありがとうございました。また葬儀にはロータリーの方にたくさんご参列いただき、主人も喜んで旅立ったと思います。主人から色々なことを学び、色々な場面で皆様にご紹介いただきながら、私も主人と共に楽しくロータリーの活動に参加させていただきました。家族会や旅行など、思い出がいっぱいです。主人はロータリアンらしく奉仕の精神をもって従業員を大切に、今の会社を築いてまいりました。後継者がいないので私が主人の跡を継いでいこうと考えておりますが、困ったときにはご相談に乗っていただけたらと思います。主人がロータリーで学んだ理念を自分のものにし、自分の人生も有意義なものにしたいと思っております。名古屋瑞穂RCのますますのご発展と皆様のご多幸を、主人に代わりお祈り申し上げます。本当にありがとうございました。

ニコボックス

宇佐美貞夫ニコボックス委員

・生前は主人が大変お世話になり、厚くお礼申し上げます。たくさんのメンバーの皆様にご参列頂き、誠にありがとうございました。

館 まち歌さん

・今月はロータリー財団月間です。本日卓話をさせていただきます。増田会長には財団で大変お世話になっております。

第2760地区ロータリー財団委員会 深谷友尋委員長

・先日の館健吾さんの葬儀には大勢の会員の皆様にご会葬いただきありがとうございました。ご冥福をお祈りします。又、本日は地区R財団委員長の深谷さんにお越しいただいております。 増田 盛英さん

・先日の館健吾さんの通夜式、告別式には多くの会員の皆様に御会葬頂きありがとうございました。ご冥福をお祈りします。又、本日地区R財団委員長深谷さんをお招きして。 高木 勝さん

・館君のご冥福を切に祈ります。 天野 正明さん

・館さんのご冥福をお祈りします。 守谷 巖樹さん

・地区R財団委員長、卓話訪問ご苦勞様です。 遠山 堯郎さん

・本日卓話に第2760地区、ロータリー財団委員長深谷友尋氏をお迎えして。 佐藤 一郎さん

・10月29日は37回目の結婚記念日でした。 西本 哲さん

・11月1日は11回目の結婚記念日でした。 近藤 茂弘さん

・11月1日は35回目の結婚記念日でした。 松波 恒彦さん

・11月5日は41回目の結婚記念日です。 大島 浩嗣さん

・10月19日誕生日でした。 森 真佐雄さん

・今月は私の誕生月です。 宮崎 信次さん

・11月4日は妻の誕生日でした。きれいなお花を贈って頂きましてありがとうございました。 市岡 正蔵さん

・本日は妻の誕生日です。 宗宮 信賢さん

卓話

第2760地区R財団委員長 深谷友尋さん

ロータリー財団について

本日はロータリー財団月間に卓話ができますことを心より感謝申し上げます。最初のロータリアンはポール・ハリスはじめ3人の仲間でした。1906年に入会した、特許弁護士のドナルド・カーターは次のようなことを述べています。「全く利己的な組織には永続性がない、もし我々がロータリークラブとして生き残り、発展することを望むなら、我々の存在を正当化するためにも奉仕をしなければならない。」また、アーサー・シェルドンは「永続的な成功を保証する唯一の方法は、よく他人のために尽くすこと。すなわちサービスである。」と言っ



ています。このサービスという意味がロータリーにとって非常に重い方向性をつけました。そうした流れの中でちょうどこの頃からR財団も同じような歩みを始めたのです。

ハーバード・テラーは1932年に「4つのテスト」を提唱しました。これは実は倒産しかかった会社の為に掲げたスローガンであったそうです。

日本は今大きな曲がり角にきています。そんな今、私はロータリアンになって本当に良かったと思うのが、この4つのテストです。この言葉を常に経営指針として、実践しています。

今年のロータリーの標語は「世界で良いことをしよう」です。普遍的な言葉でありロータリーにふさわしいテーマであると思います。名古屋瑞穂RCもポリオ撲滅に向け、いよいよ1月8日よりインドへポリオ投薬に出発されます。財団委員会もお手伝いできるような地区をあげてチームの教育を行っているところです。

R財団はただお金を集めるだけの奉仕団体ではありません。ロータリアンの皆様の崇高な知恵と心をもって、助けを必要とする国へ外向き、自ら汗をかき、子供たちの安全と平和に貢献し、新たな生活を実現するためにサービスを提供するのであります。そのためにどうしても必要なのは財源です。その財源を皆様から集めることは、そうした意義があって初めて集まるものであり、ただお金をむやみにばらまくことがあってはならないのです。

「毎年あなたも100ドルを」の100ドルの使い方としては、教育的プログラムと人道的プログラムとのバランスがとれてこそR財団の意義が進化するわけですが、今はどちらかという人道的プログラムへ傾いており、我々はそれを憂いております。やはり教育こそが我々の明日を作るための大きなプロジェクトだと思いますので、このバランスについてはこれからも考えていきたいと思っております。

来年度からの「未来の夢計画」についてお話させていただきます。これによって地区の財団のしくみが大きくかわります。これは大変夢のあるプログラムで、今までの補助金制度には制限がありましたが、新補助金は地区内のニーズに応えることができる、地区内の自由裁量で行うことができます。また、ポリオ・プラスや世界平和フェローシップ、マッチング・グラントにグローバル補助金が新設され重点6分野のプログラムがスタートします。ですからR財団としても、来年度名古屋瑞穂RCが引き続きポリオ・プラスにご貢献いただけるのであれば、このグローバル補助金を使用することができます。これは投与する費用、航空費用、宿泊費用、事前調査費用まで出すことができます。

また、例えば国内外の高校生や大学生、大学院生に対して新地区補助金を使うことができます。こうしたことで教育的プログラムを高めます。そのための大切な財源は皆さまから支援していただく「毎年あなたも100ドルを」というプログラムです。どうぞ年次寄付、ポール・ハリス・フェロー、ベネファクターにご協力くださいますようお願い申し上げます。本日は卓話の機会をいただき心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

例会のご案内

■本日の卓話 11月12日(木)
卓話講師：J.P.S.所属プロゴルファー 松井利樹さん
テーマ：メンタルゴルフ

■次週の卓話 11月19日(木)
会員卓話：本多清治さん 長瀬憲八郎さん
天野正明さん 松波恒彦さん
テーマ：30周年記念事業について

■次々週卓話 11月26日(木)
会員卓話：(アドバイザー)天野正明さん
(在籍5年未満会員)近藤茂弘さん
テーマ：若手会員よりのメッセージ